



研修はバックボーンが異なるメンバーがチームに分かれ、議論しながら進めます。モデル企業をもとに事例演習を通じて、事業領域とビジネスモデルを大きく変え、実績をあげるに至ったプロセスを疑似体験するMBA型プログラムになっています。

後継者、経営幹部養成に最適な研修です。

- 自社がどの方向へいけば事業が伸びるか分かります。
- 具体的な経営改革の方法が分かります。

● 経営者研修会概要

対象：経営者、後継者、経営幹部、IT担当リーダー

日程：11月20日（金）、11月27日（金）、12月4日（金）、12月11日（金）

時間：10：00～17：00 ※定員：15名先着順

場所：高度部材イノベーションセンター 会議室（近鉄塩浜駅 徒歩5分）

主催：財団法人 三重県産業支援センター

受講料：無料。ただしテキスト代 2,625 円実費をご負担ください。

● 地図



経営者研修会 申込書 FAX 059-223-3800 (財) 三重県産業支援センター

※受講票等は特にお送りいたしません。定員オーバーの場合のみ、ご連絡申し上げます。

会社名		参加者氏名	
所属部・役職		E-MAIL	
TEL		FAX	

※ご記入頂いた個人情報は、当財団の個人情報保護方針に基づき、適正に取り扱わせて頂きます。裏面につづく

・ 講師紹介



内藤 新司朗 (ないとう しんじろう)

独立系ソフトハウス（日本ソフトウェア開発株式会社、カテナ株式会社）でのシステム開発を経て、株式会社三重ソフトウェアセンターに入社後、IT教育を担当する。2000年よりITSSP担当として、中小企業のIT化支援事業を実施。三重県におけるITコーディネータ組織の立ち上げに関与し、当組織の事務局長を務める。2006年より社内情報セキュリティ（ISMS）、IT／情報セキュリティ教育（講師）、IT経営応援隊実施機関を担当する。2008年東洋電機株式会社へ転職。



伊藤 貞夫 (いとう さだお)

大手ITベンダーに35年勤務し、経営情報システムの開発・ITコンサルタント・ショッピングモール会社のCIO等を経験。現在は大学非常勤講師（IT分野）、経営および情報セキュリティ分野のコンサルタント、某中小企業の非常勤顧問として活動中。資格：ITコーディネータ・システム監査技術者・ISMS審査員・三重県産業支援センター専門家

・ カリキュラム

1	11月20日（金）	オリエンテーション [演習]プロジェクトの立ち上げ [演習]事業環境分析 事業ドメイン、SWOT分析、重要成功要因の抽出
2	11月27日（金）	[演習]改善改革テーマの選定 主要マネジメント要件のまとめ バランススコアカード、企業経営の基本モデル、BSCビジネスモデル BSC戦略マップ、企業の成熟度、成熟度モデル [演習]ビジネスモデルの作成と収益性の確認 新事業ドメインのビジネスモデル、主要マネジメント要件の収益性 組織の成熟度
3	12月4日（金）	[演習]評価指標と目標値の設定 重要目標達成指標、重要業績評価指標 [演習]経営戦略企画書の作成 現状と課題、新事業ドメインと事業価値、新しいビジネスモデル 経営改革実行計画書、経営改革企画とIT戦略企画
4	12月11日（金）	[演習]IT戦略テーマとIT導入アクションプラン IT戦略テーマの設定、IT成熟度の現状と計画、IT導入の実行計画 [演習]自社の経営戦略企画 自社の経営戦略企画作成、IT戦略企画作成



<お問い合わせ先>

財団法人 三重県産業支援センター

イノベーション推進課 小林

TEL 059-271-5780

〒514-0004 津市栄町1丁目891番地

三重県合同ビル5F

FAX 059-226-4957

E-mail innovation@miesc.or.jp